

ラ・ラ・ラ♪

みなさんこんにちは。年が明けて、2週間が経ちました♪今年はどうな1年にしたいですか？
みなさんの心と体が健やかな1年になりますように。

さて、1月と2月前半のキャンパスカウンセリングです。もやもやした気持ち、話すだけでも少し楽になると思います。放課後の相談もできるので、軽い気持ちで利用してくださいね。

相談日 1月 25 日 (金) 13:15~16:05

2月 8 日 (金) 13:15~16:05

*授業中の相談は公欠扱いになります

相談場所 カウンセリングルーム1 (本館1階 保健室横)

キャンパスカウンセラー 龍門 ヒサノ 先生



*相談希望の人は、担任の先生か保健室に申し出てください。

*相談内容などについての個人の秘密については厳守しますので安心して相談してください。

*保護者の方も受けていただけます。

～ まもるいのち ひろめるぼうさい ～

「1995年1月17日午前5時46分52秒」みなさん何の時間かわかりますか？高校生のみなさんが生まれる前のこの時間、「阪神・淡路大震災」という、とても大きな地震が発生しました。また地震以外でも、最近は豪雨や台風など自然災害が相次いで発生し、大きな被害をもたらしています。災害は他人事ではありません。あなたと、あなたの大切な人のいのちを守りましょう。

今回は日本赤十字社が発行している防災教材から、一部を紹介したいと思います。

被災された先生からのメッセージ 福島県立白河旭高等学校 シェルパ愛子先生 一部抜粋

「自分の苦しみや悲しみはいつか誰かを救う力になる」と教えてくれた人がいます。

あの日、私は生徒のいない学校で、逃げ遅れました。長い揺れの間ずっと、机の下でこわいと叫び続けていました。幸い学校が倒壊しなかったため助かることができました。学校は大切な子どもたちに勉強を教えるだけでなく、その命も預かる場所であるということを初めて実感したのもあの震災でした。(中略)

震災後、保護者の許可を得られた生徒たちと一緒に避難所ボランティアをお手伝いしました。このボランティアで学んだことがあります。「被災者」といつまでも言われるのはかえって傷つくこと。中高生が元気な挨拶をするだけで子どもや高齢の方々は喜んでくださること。避難所等では何でもボランティアがしてしまうのではなく、ご本人のできることはしていただくこと。意見を聞くこと。そして、どんな時でも人間を救うのは人間の持つ温かい心であり、行動であるということ。

あなたのいのちはかけがえのないものです。共に未来を考えましょう。

